

2022年9月7日

お客様各位

日本農薬株式会社

農薬登録のご連絡の件

首記の件、下記について登録されましたのでご連絡致します。

記
適用拡大 2022年9月7日付（3件）

(1) フジドーLフロアブル

登録第 23002 号

- ① 希釈倍数の追加:ばれいしょ、たまねぎ(軟腐病)/500倍⇒500～800倍
 だいず、えだまめ(紫斑病)/500倍⇒500～800倍
- ② 適用病害虫名の追加:りんご/褐斑病(500倍)

【変更後】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	銅を含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	軟腐病	500～800倍	100～300ℓ/10a	-	-	散布	-
	疫病	500倍					
たまねぎ	軟腐病	500～800倍					
	りん片腐敗病	500倍					
だいず えだまめ	紫斑病	500～800倍					
りんご	すす点病 すす斑病 褐斑病	500倍	200～700ℓ/10a				

* 注意事項の変更はありません。

(2) ライジンパワーフロアブル

登録第 23146 号

- ① 使用時期の変更: 直播水稻/湛水直播の稲 1 葉期～ヒエ 2.5 葉期ただし、収穫 90 日前まで
⇒ 稲 1 葉期～ヒエ 2.5 葉期ただし、収穫 90 日前まで
- ② 使用方法の追加: 移植水稻、直播水稻/無人航空機による滴下

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	インダノファンを含む農薬の総使用回数	ピラクロニルを含む農薬の総使用回数	ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	一年生雑草及び多年生広葉雑草 エゾノサヤスグサ	移植後 3 日～ヒエ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	500 ml /10a	1 回	原液湛水散布、 水口施用 又は 無人航空機による滴下	2 回以内	2 回以内	3 回以内
直播水稻	一年生雑草及びマツハイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ、アオミドロ・藻類による表層はく離	稲 1 葉期～ヒエ 2.5 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで			原液湛水散布 又は 無人航空機による滴下			

【追加する注意事項】

- ・本剤を無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ること。
 - ① 滴下は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - ② 滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないこと。
 - ③ 作業中、薬液が漏れないように機体の配管その他装置の十分な点検を行うこと。
 - ④ 隣接するほ場に水稻以外の作物が栽培されている場合は、無人航空機による本剤の滴下は行わないこと。
 - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
 - ⑥ 薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
 - ⑦ 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稻以外の作物への薬剤散布には使用しないこと。
- ・無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。

(3) 日農イッポンジャンボ

登録第 22406 号

- ① 適用雑草名の変更: 移植水稻、直播水稻/水田一年生雑草⇒一年生雑草
- ② 使用時期の変更: 直播水稻/湛水直播の稲 1 葉期～ルゑ 2.5 葉期ただし、収穫 90 日前まで
⇒稲 1 葉期～ルゑ 2.5 葉期ただし、収穫 90 日前まで

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ヘラオモダカ、クログワイ、 オモダカ、ミスガヤツリ、 ウリカワ、ヒルムシロ、 セリ、シズイ、 アオミドロ・藻類による 表層はく離	移植直後～ ルゑ 2.5 葉期 ただし、 移植後 30 日まで	小包装(パック) 10 個(500g) /10a	1 回	水田に 小包装(パック)のまま 投げ入れる。
直播水稻	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、 ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、 ウリカワ、ヒルムシロ、セリ	稲 1 葉期～ ルゑ 2.5 葉期 ただし、 収穫 90 日前まで			

ピラクロルを含む 農薬の総使用回数	プロモプチドを含む 農薬の総使用回数	ベンシルフロンメチルを含む 農薬の総使用回数
2 回以内	2 回以内	2 回以内

【変更する注意事項】

- ・容器等はほ場などに放置せず、適切に処理すること。

以上